

Helmi and Hermann

ヘルミ&ヘルマンニ

1 girl and 1 boy/ 7 and 4 years old

Niina and Panu Sihto

ニイナ&パヌ・シフト

interior architect and managing director



ヘルミちゃんのお気に入りのおもちゃは
子どものころ、ママが遊んでいたドールハウス。
ヘルマンニくんが持っている、青い車は
おじいちゃんが、幼いころから持っていたもの。
家族から譲り受けた、おもちゃがあるので
できるだけ新しいものは買わないというパパとママ。
家具や雑貨はどれも、子どもたちも使えるものばかり。
ちょっとくらい汚れたり、壊れたりしてもだいじょうぶ。
子どもたちものびのびと、おうち時間を楽しみます。



夏は大きな木の下、冬は雪が舞う空の下で、楽しく遊ぼう

学校に通いはじめたばかりのヘルミちゃんとおしゃべり好きなヘルマンニくん、そしてオフィスやレストランなどのインテリアデザイナーとして活躍するママのニイナと、広告会社を経営するパパのバヌ。4人が暮らすブナヴォオリ地区にあるアパートマンは、フィンランドの有名なお菓子メーカー「ファツェル」の工場とオフィスとして使われていた建物。オフィスだったスペースを3家族でわけ、室内デザインはママが手がけました。色使いは自然を感じさせるやわらかいトーンで、ドアをつけずに全体をオープンに。子どもたちもおうちの好きな場所で自由に遊ぶことができます。



上：リビングからふたりの部屋を見たところ。光をさえぎらないように仕切り壁は途中まで。窓辺のデスクは一緒に使えるようになっています。左下：どちらもサンタさんからのプレゼント。リトル・ミィのバックパックは、ヘルミちゃんからのおさがり。右下：ページを広げるとドールハウスになる「くまのプーさん」の本。



左上：レゴ・ブロックは、ヘルマンニくんのお気に入り。大きくなったら1日中遊んでいたいのだそう！右上：おじいちゃんから譲り受けた青い車に、手づくりの虫たち。左中：家族のお楽しみはサッカー。左下：50年代の「ファツェル」の缶には色えんぴつ、「イケア」の水玉模様の缶にはマーカーペンを入れて。右下：さまざまな柄の壁紙をスノーフレック型に切って、壁をデコレーション。





左上：毎日のお絵描きするヘルミちゃん。自分で新しい絵を飾ることができるように、壁の一面をギャラリー・コーナーに。右上：ママも遊んだ、素敵なドールハウス。左下：学校で友だちと一緒に遊ぶので、動きやすい洋服がお気に入り。右中：壁面に描いた大きな木にあうように、鳥の形のフックをつけて。右下：弟が生まれるときに、おばあちゃんからヘルミちゃんにプレゼントされた赤ちゃん人形。





左上：モダンな「ノーマン・コペンハーゲン」のランプとイームズのイスに、ラフな質感のテーブルでコントラストをつけて。右上：ポップアップカードは、ヘルミちゃん3歳のときの作品。以前は子どものための建築学校 Arkki に通っていたのだそう。右中：2歳のころの写真に、ヘルミちゃんがハートを添えて。左下：花をいけたり、冬はキャンドルを入れたり、透明のガラスが好きというママ。右下：サッカーをモチーフにしたシーリ・ボホヨライネンの絵画。



左上&右上：ラミネート加工したカードに書かれた問題にそって、すぐ消せるペンで絵を加えていくゲーム。旅行など長い時間を過ごすときにもぴったり。左中：読み聞かせをよくしているパパとママ。最近のヘルミちゃんのお気に入り「不思議の国のアリス」。左下：ムーミンのキッズ・コンピューターは、読み書きを学ぶのを助けるおもちゃ。右下：レザーソファーにデンマークの「HAY」のブランケットで色を添えて。

